



令和4年度学校だより

7月21日

五福校 ごふくこう

No45

文責 本田

保護者の皆様には 1学期大変お世話になりました。

夏休みは自分で何か課題を見つけて挑戦できたらいいですね。

保護者の皆様には、1学期、運動会や授業参観、校外学習、水泳、毎日の検温等、本校の学校教育活動にご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。地域の皆様にも毎日登下校の見守りをしていただき子どもたちも事件事故等に巻き込まれることもなく安全に1学期を終えることができました。明日から38日間の夏休みになります。始業式は8月29日(月)です。

1学期の終業式で子どもたちに話をしましたが、アンケートの結果9割以上の子どもたちが、

- ◎話している人の意見や考えをしっかりと聞くことができる。
- ◎気持ちのいいあいさつや返事をしたり、おれいのの気持ちを伝えたりすることができる。
- ◎クラスみんなのそれぞれのよいところに気づくことができる。
- ◎自分が何かをする時、まわりには助けてくれる人がたくさんいる。
- ◎友達が失敗した時も、せめたりせずにゆるすことができる。

と回答しています。子どもたちが自分や周りの友達を大切にしていることがわかり嬉しく思います。

逆に、8割を切っている項目は、

△宿題のほかに、休み時間や家に帰った後にも、勉強したことを自分で調べたり、まとめたりする。

△熊本や五福のニュースや出来事について、自分から見たり聞いたりしている。

△決められたときまでにやるべきことを計画してできる。

といったものです。

これらのことは大人でも難しいことだと思いますが、これができるようになると、自分で自立して学び続けることができるようになります。先日、出張の際に、ある大企業の社長とお話しをする機会があったのですが、これからの人材には、早め早めの自立と自律(自分で立って自分で律すること)が必要で、これから企業が求めるのは個々人の専門性と言われました。会社と個人の関係は、会社が手とり足とり教育できる時代から、個人がこういう貢献ができますというフラットな関係になるので、自分のことは自分で考え律することが必要ということをお話されました。時代の流れを見て、「課題は何か」「どうすればいいか考え提案できる力」は小学校のうちから土台を作っておかねばならないと思っています。

ちょっと難しい話になりましたが、夏休みはしっかり休養して元気に2学期の始業式の日に登校してほしいと思います。

夏休みにしかできないことにチャレンジしてみよう

自分が経験(けいけん)・体験(たいけん)したことを、
自分のすきなやり方で
(絵、動画、プレゼン、工作、プログラミング)
まとめて友達や先生に発表しよう



38日の夏休み

自分でどうにかする力を発揮(はっき)して
自ら学ぼう(みづからまなぼう)
安全(あんぜん)に気をつけてしっかり楽しもう

8月29日(月)始業式
元気に学校に来てください

